

仕様表

対応基材	いぶし瓦・陶器瓦・釉薬瓦・素焼き瓦
塗装間隔	1~2時間
混合容積比	A液:B液=5:1
ポットライフ	2時間(20℃)
シンナー希釈	刷毛・ローラー…0~20% エアレス・エアースプレー…10~30%
塗布面積	90~120㎡/18kgセット 2回塗装
塗布量	0.150~0.200kg/㎡ 2回塗装
内容量	●A液15kg、B液3kg ●A液5kg、B液1kg

⚠ 注意事項

〈使用上の注意〉

- 極端な降雪地区や海岸沿いでの塗装は避けてください。
- 塗料では瓦の割れの補修及び防止はできませんので、割れが発生している瓦への塗装は避けてください。また、凍破を防止することはできませんので、ご注意ください。
- 被塗物表面が雨や霜などで濡れている時は、十分に乾かしてから塗装してください。濡れた状態で塗装すると、フクレ・ハガレの原因となります。
- 朝夕の結露時期、被塗物が異常に高温の時、降雪雨が予想される時は、塗装を避けてください。
- 被塗物表面に付いているゴミ・ほこり・苔等を十分にデッキブラシ等で洗浄してください。
- 日本瓦表面に脆弱な銀粉が付着している場合は、ワイヤーブラシ等でケレンし銀粉を十分に除去してください。
- 苔やカビが付着している瓦には、屋根コケトールを使用してください。使用方法は別途カタログをご確認ください。
- ポットライフは20℃雰囲気下で約2時間ですが、夏場は更に早くなりますので、必要量の調査をお勧めいたします。
- 塗装間隔は1~2時間で、その日の内に仕上げてください。塗装間隔がずれますとリフティングが発生する可能性があります。
- 塗装ミストが近隣へ飛散しない様、十分に養生を行ってください。
- 吹き付けでの塗装の場合、フリーパターンチップ020かパターンの開きを大きくした028での塗装をお勧めいたします。
- 刷毛・ローラーで塗装する場合、吹き付けと比べて仕上がりが劣ります。硬めの刷毛・短毛ローラーでの塗装をお勧めいたします。
- 他の塗料と絶対に混合しないでください。
- 釉薬瓦は表面が滑りやすくなっていますので、施工の際は充分ご注意ください。
- 必ず専用シンナーをご使用ください。
- 旧塗膜が新しいいぶしコート以外の場合は、塗り替えができませんのでご注意ください。

〈安全衛生上の注意〉

- 容器からこぼれた場合は、砂などを散布した後に地方・国の規則に従って、廃棄処理してください。
- 取り扱い後は、充分に手洗い及びうがいをしてください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い流し、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、多量の石鹸水で洗い落してください。
- しっかりとフタをして、子供の手の届かない場所に定めて保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 容器は吊り上げないでください。やむを得ず吊り上げるときは、適切な釣り具で垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。
- 火気厳禁です。



オリエンタル塗料工業株式会社 〒547-0001 大阪府大阪市平野区加美北4-5-38 TEL.06-6791-4031 FAX.06-6791-4034

第1工場 〒547-0001 大阪府大阪市平野区加美北4-9-5

第2工場 〒547-0001 大阪府大阪市平野区加美北4-5-38 TEL.06-6791-4031 FAX.06-6791-4034

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476ミルトクラール1番館102号 TEL.048-940-3927

福岡営業所 〒814-0161 福岡県福岡市早良区飯倉3-29-8 TEL.092-831-2281

<https://oriental-toryo.jp/>



日本瓦の風合いを完全再現「IBUSHI(いぶし)シリーズ」

独特な風合いが日本家屋の象徴として親しまれてきた上質な粘土瓦。その特性上、初期の風合いは経年で損なわれてしまいます。しかし「IBUSHI(いぶし)シリーズ」なら、他の屋根材には真似できない粘土瓦の独特な風合いを再現することが可能です。

業界初 IBUSHIシリーズ 粘土瓦塗り替え専用塗料 新しいぶしコート

いぶし瓦の特性を活かすよう屋根塗料の専門家が設計した業界初の専用塗り替え塗料「新しいぶしコート」。塗面に対し強力な密着性能を発揮しながら、いぶし瓦の特長である透湿性に影響を与えません。経年による色ムラや失った風合いを完全再現いたします。



特徴・用途

再現性

艶消し・3分艶ありの落ち着いた印象で、いぶし瓦の風合いを損ねることなく塗り替えをすることができます。

作業性

下地剤が不要で瓦に直接塗布することができ、塗装面の乾燥が早いので、作業時間の短縮に繋がります。

耐候性

特殊シリコン樹脂で塗膜の汚れを定着しにくくします。また、カビや藻等の微生物の汚染に対して抵抗力が強く、長期間に渡り美観を維持します。

密着性

優れた密着力でいぶし瓦だけでなく、ガラス質の釉薬瓦にも直接塗装をすることができます。

施工実例



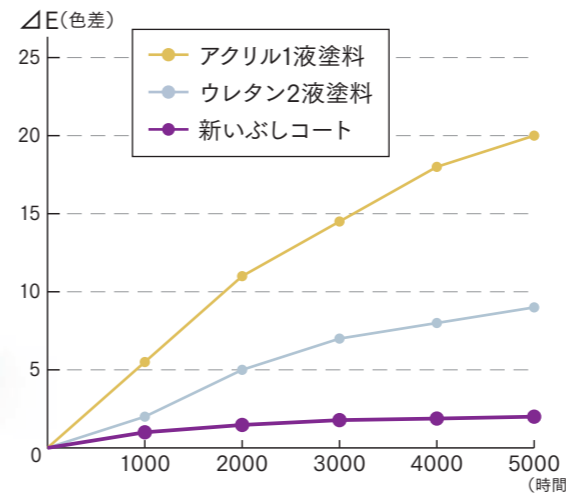
陶器瓦に全つや消しタイプ塗布 ▲

いぶし瓦に全つや消しタイプ塗布 ▲

釉薬瓦に3分艶ありタイプ塗布 ▲

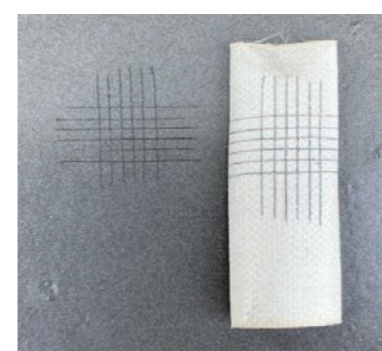
性能

■サンシャインウエザオメーターの促進耐候性試験



●促進耐候試験5000時間で実曝約10年相当 ●色差は値が低いほど色の変化が少ない事を示します。●新しいぶしコートは5000時間経過しても、色の変化が少なく長期間美観が維持されます。

■クロスカット(基盤目テープ)試験



カッターで塗膜に切り込みを入れ、強力な布のテープで引っ張り試験を行いました。剥がれずしっかり密着しています。

塗装工程

1 素地調整

ほこり・苔・カビなどの汚れ、脆弱な銀粉・旧塗膜はしっかり取り除き、高圧水洗で洗浄してください。洗浄後は十分に乾燥させてください。



2 上塗り(1回目)

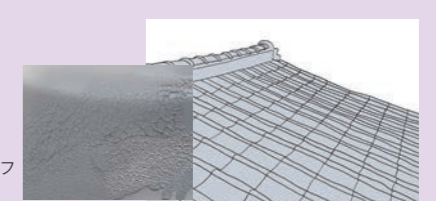
刷毛・ローラーの場合は0~20%、エアレス・エアースプレーの場合は10~30%にシンナー希釈して塗布してください。



3 乾燥

塗装間隔は2時間以内です。

※乾燥時間が長くなるとリフティングの原因となります。



4 上塗り(2回目)

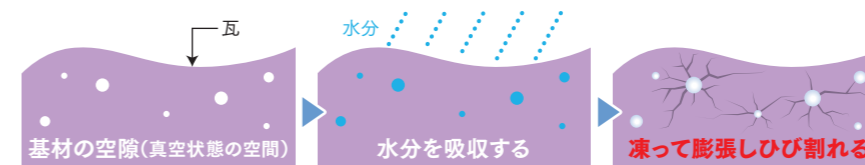
1回目と同様に塗布してください。



※その他詳細は塗装仕様書をご確認ください。

凍害(寒割れ、凍破)にご注意!!

凍害(寒割れ、凍破)とは、屋根材中の水分の凍結膨張によって発生するもので、長年にわたる凍結と融解の繰り返しによって徐々に劣化する現象です。基材由来の凍害による瓦の割れは塗料では抑えることができず、差し替え・伏せ替えが必要になります。



▲凍害によって破損した瓦